



平成 30 年 11 月 21 日

各 位

会 社 名 東邦ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役会長 CEO 濱田 矩男
(コード番号 8129 東証第一部)
問合せ先 取締役 広報・IR 室長 河村 真
(電話 03-6838-2803)

高機能な新物流センター『TBC広島』の稼働に関するお知らせ

東邦ホールディングス株式会社（本社：東京都世田谷区、代表取締役会長 CEO：濱田 矩男）は、医療用医薬品等の高機能な物流拠点として、「TBC 広島」が 11 月 5 日より稼働いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. TBC 広島の概要

- (1) 名 称： 東邦薬品株式会社 TBC 広島
- (2) 所 在 地： 〒731-3169 広島市安佐南区伴西 2-3-14
TEL 082-225-8903 FAX 082-225-8904
- (3) 敷 地 面 積： 31,014 m²
- (4) 建 築 面 積： 12,207 m²
- (5) 延 床 面 積： 31,700 m²
- (6) 構 造： RCSS 造 地上 4 階建
- (7) 取扱品目数： 約 25,000 品目
- (8) 取 扱 品 目： 医療用医薬品、医療機器、医療材料、検査薬等
- (9) カバーエリア： 広島、岡山、鳥取、島根、山口、香川、愛媛、高知、福岡（一部）
- (10) 最大出荷能力： 250 億円/月

2. TBC 広島の特徴

- (1) TBC 埼玉で培った自動化の技術を更に進化させることで、入荷から出荷までの無人処理化を実現
 - ・パレット単位入荷の自動化、元梱単位でのトラックからの入荷処理の自動化。深夜荷受対応で、運送会社のドライバー不足や待機時間の改善にも貢献。
 - ・ロボットによるピッキングと箱入れを実現。TBC埼玉では約2,500品目だった対象品目を約7,000品目に引き上げたことでピース（個装）ピッキングの90%を自動化。
 - ・得意先物量に応じた3種類の容器（オリコン）を自動的に選択し、商品の投入・蓋締め・封緘テープの貼付までを全て自動で行うことで、人手による作業を限界まで削減。
 - ・出荷する元梱やオリコンをカーゴ台車へ自動積み付けをすることで、出荷エリアの省人化を実現。

(2) 出荷精度の更なる向上

- ・バーコード、重量、画像によるチェック機能を強化し、更に作業レコーダーで全てのチェックポイント（検品や仕分け）を記録することで、これまでの物流センターで達成している出荷精度99.9999%を上回る出荷精度を目指す。
- ・カーゴ台車と積載トラックをバーコードで紐付けすることで、車両への積み込みミスを防止。

(3) PIC/S GDP(*)に準拠した物流体制の確立

- ・入荷口にドックシェルターを完備することで、外気の影響を抑え、異物の混入を防止。
- ・温度モニタリングシステムを導入し、センター内 36 箇所の温度を継続的に測定。
- ・GDP に対応した専用車両を開発し、輸送時における適正な温度管理とモニタリングを実施。
- ・捕虫器や鳥よけスパイク、超音波による防鼠装置の設置等による防虫・防鼠対策の導入。

*PIC/S（医薬品査察協定および医薬品査察協同スキーム）が定める医薬品の国際的な適正流通基準

(4) センターから得意先までの配送の効率化

- ・従来の営業所別出庫から得意先別出庫とすることで営業所における配送業務を効率化。

(5) 得意先サービスの拡充

- ・TBC 広島から直接医療機関に商品を納品する「センター直送便」や、納品時の検品を省略することで得意先の業務効率化に寄与する「NO 検品システム」のサービスを提供、拡充。

(6) 万全な災害対策及びセキュリティ対策

- ・ホストコンピューターの二重化、定期的な災害訓練の実施等、災害時にも医薬品を安定供給できる体制を整備。
- ・72 時間稼働可能な自家発電装置を完備。20,000 リットルの燃料をタンク内に貯蔵しているほか、近隣の燃料供給会社で 10,000 リットルの燃料を備蓄し、実質自家発電装置が 108 時間稼動可能な環境を整備。
- ・災害対応用バイクを配備。

(7) 環境負荷低減への取り組み

- ・夜間電力を活用してロボットが自動ピッキングを行うことで社会的コストの低減に貢献。
- ・屋上にソーラーパネルを設置。

3. 総投資額

約 150 億円

4. スケジュール

稼働開始日：2018 年 11 月 5 日

(広島県より順次供給エリアを拡大し、2019 年 1 月 4 日から全エリアに供給)



以上